

## 実務実習（病院）

責任者・コーディネーター	情報薬科学分野 西谷 直之 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬剤学分野、構造生物薬学分野、創薬有機化学分野、天然物化学分野、衛生化学分野、機能生化学分野、細胞病態生物学分野、情報薬科学分野、生体防御学分野、分子細胞薬理学分野、創剤学分野、薬物代謝動態学分野、神経科学分野、分析化学分野、臨床医化学分野、薬剤治療学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	5	区分・時間数	実習 330 時間
期 間	通期		
単 位 数	10 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

実際の現場で病院業務の体験を通じて病院薬剤師の役割を学ぶ。

#### 実習ユニット

- (1) 病院調剤を実践する
- (2) 医薬品を動かす・確保する
- (3) 情報を正しく使う
- (4) ベッドサイドで学ぶ
- (5) 薬剤を造る・調べる
- (6) 医療人としての薬剤師

### ・教育成果（アウトカム）

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得し、6つの実習ユニットを体験することで、チーム医療に参画できる実践的能力の基礎が身につく。

（ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,5,6,8,9）

### ・到達目標（SBO）

1. 医療人としての倫理観と態度を身につける。
2. 薬剤師病棟業務を正確に実施できる。
3. 患者の気持ちに配慮した対応が適切にできる。
4. 多職種への情報提供が的確にできる。
5. 注射用医薬品の適切な保管・管理を実施できる。

#### 病院実習

GIO：病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

- (1) 病院調剤を実践する

GIO：病院において調剤を通して患者に最善の医療を提供するために、調剤、医薬品の適正な使用ならびにリスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病院調剤業務の全体の流れ」、「計数・計量調剤」、「服薬指導」、「注射剤調剤」、「安全対策」の各項目の実習を行う。

(2) 医薬品を動かす・確保する

GIO：医薬品を正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために、医薬品の管理、供給、保存に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「医薬品の管理・供給・保存」、「特別な配慮を要する医薬品」、「医薬品の採用・使用中止」の各項目の実習を行う。

(3) 情報を正しく使う

GIO：医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬剤部門における医薬品情報管理(DI)業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病院での医薬品情報」、「情報の入手・評価・加工」、「情報提供」の各項目の実習を行う。

(4) ベッドサイドで学ぶ

GIO：入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病棟業務の概説」、「医療チームへの参加」、「薬剤管理指導業務」、「処方支援への関与」の各項目の実習を行う。

(5) 薬剤を造る・調べる

GIO：患者個々の状況に応じた適切な剤形の医薬品を提供するため、院内製剤の必要性を認識し、院内製剤の調製ならびにそれらの試験に必要とされる基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「院内で調製する製剤」、「薬物モニタリング」、「中毒医療への貢献」の各項目の実習を行う。

(6) 医療人としての薬剤師

GIO：常に患者の存在を念頭におき、倫理観を持ち、かつ責任感のある薬剤師となるために、医療の担い手としてふさわしい態度を修得する。

SBO：

1. 患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)
2. 患者にとって薬に関する窓口である薬剤師の果たすべき役割を討議し、その重要性を感じとる。(態度)
3. 患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)
4. 生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
5. 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)
6. 職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)

・実習日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
実習日程は特記事項に記載					

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	今日の治療薬 2018 解説と便覧	浦部 晶夫 他編集	南江堂	2018
教	治療薬マニュアル 2018	高久 史麿 編集	医学書院	2018
教	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 上 薬剤師業務の基本（知識・態度）第3版	上村 直樹，平井 みどり 編集	羊土社	2017
教	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 下 調剤業務の基本（技能）第3版	上村 直樹，平井 みどり 編集	羊土社	2017
参	処方提案につなげる薬物療法ハンドブック	寺町ひとみ 編集	南江堂	2015

・成績評価方法

実習施設での評価(病院 50%)、レポート(実習日誌・週報)と出欠状況(15%)、実務実習成果発表会の評価(10%)、実務実習確認試験(25%)などから総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

予習としては、翌日実習する SBO をよく読んでおくこと。  
復習としては、行った実習内容を簡単に日報等にまとめること。  
週末には実習進捗ネットワークツールを用い、週報を入力すること。

実習日程

I 期 平成 30 年 5 月 7 日（月）～7 月 22 日（日）

II 期 平成 30 年 8 月 6 日（月）～10 月 21 日（日）

III 期 平成 30 年 11 月 5 日（月）～平成 31 年 1 月 27 日（日）

進捗ネットワークツールを用い、週報に対してコメントを入力することを通じて、学生にフィードバックを行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	各実習施設備え付けの薬剤業務関連機器		
実習	各実習施設内の機器		